オキドキ

OKEY DOKEY

1～5人／16～32分／6歳以上

♫ ゲームの概要 ♫

皆さんは音楽フェスティバルの主催者です。各地からボーカル、フロント、ドラム、ピアノ、ベースといった様々なパートの奏者が集まってきました。各パートの奏者を組ませて、多くの楽団を作り、音楽フェスティバルを成功させましょう！

♫ 目的 ♫

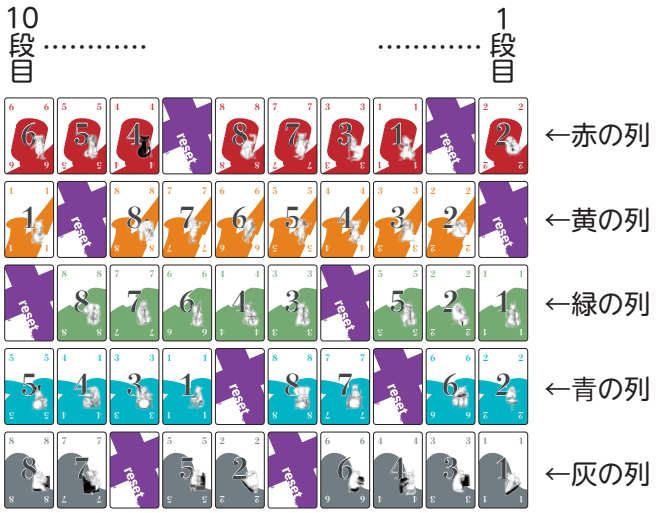
オキドキは協力ゲームです。みなと争うことはせず、共通のゴールを達成するためにチームとなります。カードを1枚ずつ出すことにより、5色の列×10段の50枚のカードを並べることが目的です。そのためにはルールに従い1段ずつカードを並べていく必要があります。

♫ 内容物 ♫

●数字カード 40枚
　赤、黄、緑、青、灰の5色　1～8まで1枚ずつ
●イコールカード　3枚
　数字カードの1種
●リセットカード　10枚
●マニュアル　1枚

♫ このゲームの目的 ♫

数字カードとリセットカードを使って、5色×10段の50枚のカードをテーブル上に並べることが目的です。そのためにはルールに従い1段ずつカードを並べていく必要があります。



♫ ゲームの準備 ♫

1. プレイヤー全員で難易度を決めます。
難易度によって使用するイコールカードの枚数が変わります。

難易度	イコールカードの枚数
やさしい	3枚使用
普通	2枚使用
難しい	1枚使用
非常に難しい	使用しない

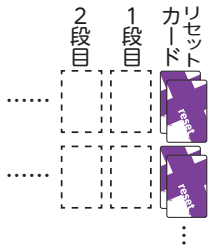
2. 決めた難易度に応じた枚数のイコールカードと数字カード全てを裏向きしてよく混ぜます。残ったイコールカードは箱に戻しておき、今回のゲームでは使用しません。

その後、各プレイヤーにプレイ人数に応じた枚数の数字カードを配ります（イコールカードも混ざってます）。
各プレイヤーはそれを手札として持ちます。

プレイヤー人数	手札の枚数
1人	10枚
2人	7枚
3人	6枚
4人	5枚
5人	4枚

残りの数字カードは数字カードの山としてテーブル脇に置いておきます。

3. リセットカードを2枚ずつ重ねてテーブル上に5列に並べます。



4. スタートプレイヤーを相談して決めます。
各プレイヤーは手札を見て、誰がスタートプレイヤーになるかを話し合って決めます。
以降は、スタートプレイヤーから時計回りの順に手番を行っていきます。
以上で準備は完了です！

♫ ゲームの流れ ♫

このゲームは50枚のカードが置かれるまで続けます。
このゲームはスタートプレイヤーから手番を行い、以降、時計回りで進行します。
例外：5人プレイ
5人プレイの場合のみ、各段で5枚目のカードが置かれた場合、そのプレイヤーがもう1回手番を行います。

手番になったら次の2つのうちいずれかを行います。
a) 数字カードを出す
b) リセットカードを置く

a) 数字カードを出す
数字カードを場に出します。通常の数字カードの代わりにイコールカードを出しても構いません。
その際【カードを置く規則】（後述）に従う必要があります。
その後、（山札にカードが1枚以上ある場合）山札から1枚引いて手札とします。

b) リセットカードを置く
色の列を1列選び、その列の脇からリセットカードを取り、その色の列に置きます。
その列の脇にリセットカードが1枚もない場合この行動はとれません。
その際【カードを置く規則】に従います。

その後、（山札にカードが１枚以上ある場合）手札から０～２枚を山札の一番下に入れ、同じ枚数だけ山札から引いて手札とします。

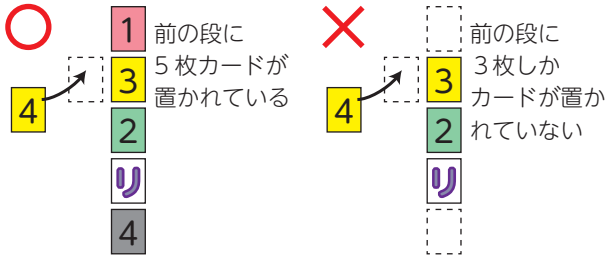
【カードを置く規則】に従い a)b) のどちらの行動もとれない場合、ただちにゲーム終了となり、全員が敗北となります。

山札が無くなったら……
以降は、山札からカードを引くことはできません。
また、イコールカードが置かれていた場合、手番とは関係なくいつでも、手札からイコールカードが置かれている列の色の数字カードを１枚捨てることが出来ます（イコールカードの下に少しずらして置きます）。ゲームを通じてイコールカード１枚につき捨てられる数字カードは１枚だけです。

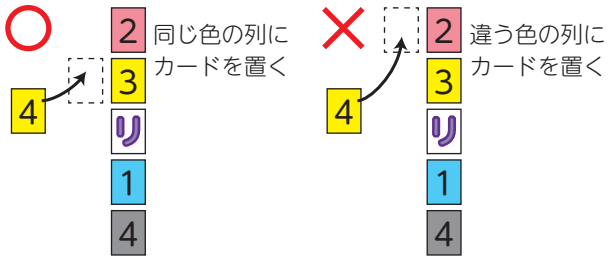
手札が無くなったら……
以降はそのプレイヤーの手番を飛ばします。

♬ カードを置く規則 ♬

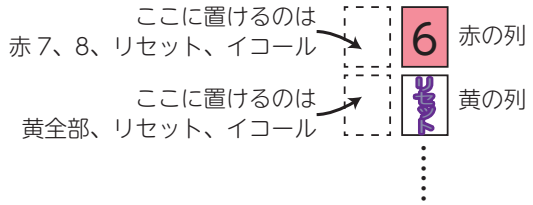
・段の規則
カードは各列の一番右端から順に置いていきます。
各列の右側の段全てにカードが置かれると次の左の段にカードを配置できます（例：１段目に５枚カードが置かれた後に、２段目にカードを置くことができるようになります）。



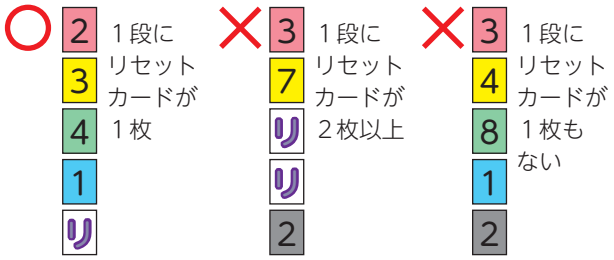
・色の規則
各列は数字カードにかかれている色が全て同じでなくてはなりません。また、同じ色の列が複数列あってはいけません（例：１列目の１段目にリセットカード、２段目に赤の２を配置したら、１列目は３段目以後は数字カードは赤色しか置けません）。



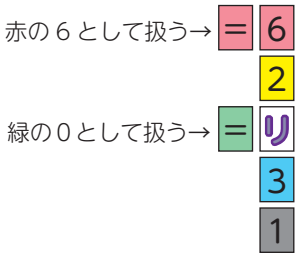
・数字の規則
数字カードは、そのカードの数字が同じ列の前の段の数字以上でなければなりません。
リセットカードは、前の段の数字と関係なく出すことが出来ます。
前の段のカードがリセットカードである場合、前の段の数字は０とみなし、色さえ合っていればどのカードでも出せます。



・リセットカードの規則
各段で５枚カードが置かれた際、必ず数字カード４枚とリセットカード１枚が置かれていなければなりません。
同じ段にリセットカードが２枚以上ある、同じ段にリセットカードが０枚である、という状況を作ってはいけません。
ゲーム終了時に、同じ色の列にちょうど２枚のリセットカードが置かれなければなりません。



・イコールカードの規則
イコールカードは通常の数字カードの代わりに置きます。どの色の数字カードとしても置くことが出来ます。その際、数字は同じ列の前の段の数字と同じになります。同じ列の前の段がリセットカードの場合や、１段目に置いた場合、数字は０になります。



♬ ゲームの終了 ♬

10 段目のカードが全て置かれた、つまり場に 50 枚のカードを置くことが出来たらプレイヤー全員の勝利です。
そうでない場合、プレイヤー全員の敗北です。

♬ 相談のルール ♬

全てのプレイヤーは自分の手札を他人に見せたりしてはいけません。
自分の手札の数字を言ったり、示唆するようなことは出来ません。
自分の手札の色の枚数を言うのは大丈夫です。
置きたい列の色の主張などは大丈夫です。

♬ ヒント ♬

・各段の置き始めに誰がどの色のカードを置くか、誰がリセットをするかよく相談しましょう。
・「１」の数字カードは１段目か、前の段でリセットされた場合には優先して置くようにしましょう。
・10 段目を除いて、「８」の数字カードが同じ段に置かれる事態になるのは避けましょう。

ご意見・ご感想は OKAZU（okazubrand@gmail.com）までお願いいたします。
制作：OKAZU brand
（最新情報はこちらへ　http://okazubrand.seesaa.net/）
ゲームデザイン：林尚志（OKAZU）
グラフィックデザイン：ryo@ にゃも　ライティング：HAL99
テストプレイ：いつものメンバー